

韓詩集註

中卷

卷之

卷之

卷之

信說子代記

65

70

75

80

14
3159
B16

穉生傳記年代記

式部卿三馬心

本町市分一西室新殿



六昔

むらしきちつとこの國へ大なるもつちがれま

全

もたふ鬼がしすつらう旅ぐまどとせもん

室ものをもゆる

全

かろくらの美も旅うらうせしむい

ぬきしむおぢとささるい

全

うきだつち子もささみそくさおあり

らぬきしさい

全

わづみのあいらみそ晴たよああささ子

猫とふれぬむらじ

① あまふれぬむらじのふれぬむらじのふれぬむらじのふれぬむらじ

② けんごしごしごしごしごしごしごしごしごしごしごしごしごし

猿ぐのふれぬむらじのふれぬむらじのふれぬむらじのふれぬむらじ

③ 其後 猿ぐのふれぬむらじのふれぬむらじのふれぬむらじのふれぬむらじ

④ くらぬのすけふれぬむらじのふれぬむらじのふれぬむらじのふれぬむらじ

⑤ 同 くらぬのすけふれぬむらじのふれぬむらじのふれぬむらじのふれぬむらじ

⑥ いろいろのふれぬむらじのふれぬむらじのふれぬむらじのふれぬむらじ

お宝のふれぬむらじ

① べしけいふれぬむらじのふれぬむらじのふれぬむらじのふれぬむらじ

とくむらじのふれぬむらじのふれぬむらじのふれぬむらじ

② 法王のふれぬむらじのふれぬむらじのふれぬむらじのふれぬむらじ

風子(ふうし)のふれぬむらじのふれぬむらじのふれぬむらじ

③ 及中(およし)のふれぬむらじのふれぬむらじのふれぬむらじのふれぬむらじ

とくむらじ

④ ちやせん(ちやせん)のふれぬむらじのふれぬむらじのふれぬむらじのふれぬむらじ

げむらじ

⑤ 全 さいやん(さいやん)のふれぬむらじのふれぬむらじのふれぬむらじのふれぬむらじ

さいやん

中右 ながもたけのなまなまのしほりよの

あまのつゆ

全 あまのつゆのしほりよのなまなまのしほりよ

全 あまのつゆのしほりよのなまなまのしほりよ

あまのつゆ

全 土佐のしほりよのなまなまのしほりよ

あまのつゆ

全 土佐のしほりよのなまなまのしほりよ

あまのつゆ

全 あまのつゆのしほりよのなまなまのしほりよ

全 あまのつゆのしほりよのなまなまのしほりよ

あまのつゆ

全 土佐のしほりよのなまなまのしほりよ

あまのつゆ

全 土佐のしほりよのなまなまのしほりよ

全 あまのつゆのしほりよのなまなまのしほりよ

あまのつゆ

画 土佐のしほりよのなまなまのしほりよ

尾をぬきし一枚絵の出し

全 一枚絵のしほりよのなまなまのしほりよ

あまのつゆ

東本 あまのつゆのしほりよのなまなまのしほりよ

だいの絵をうらす紙を黄いろにその

② 赤紙のけいこい白紙の表題とあはれと
表題の繪をいりてこをいぬ

③ 画工 ちり紙をいりてその大きに
ついでに信おこすはき

④ 墨本 墨をいりてその外題をいりて
ちと稱す外題の表題の紙を信し色紙
としせくと云ふこと

⑤ 作者 地ぢやの作者と河と子人赤紙
をいりて作者の名をいりてその
しぢと云ふこと

⑥ 青紙 白紙又い赤紙の画外題に黄紙
紙をいりてその下めて表題をいりて
青紙と云ふ

⑦ 全 絵師の名をいりてその
出さずして上中下のこらなくゆき
りよめをいりて

⑧ 画工 ちり紙をいりてその
佳甲中畫修江戸繪とていふ
全 ちり紙をいりてその
畫修のちり紙をいりて

⑨ 作者 文子通幸 和祥と河と子

まじしと作らるるの終り作らるる
さぬるものにはお祈りなす

青巻 ころごさや常のわおびんぼく

作 一代記 藤村 中 也 なるんお
うまさらお祈りなす

全 赤巻 青巻 赤巻 なるんお

るんお祈りなす

画工 なるんお祈りなす

全 一豆 終りなす

作を 玉や新巻 梅伏のなるんお

なるんお祈りなす

巻を 赤巻 なるんお祈りなす

なるんお祈りなす

全 赤巻 なるんお祈りなす

なるんお祈りなす

画工 なるんお祈りなす

なるんお祈りなす

なるんお祈りなす

全 なるんお祈りなす

なるんお祈りなす

あつらひやけまじり

作者 青毛と通染つくり 藤の画、あまのてきやうりちやせいの

青毛 ぐさみしりいしあひんこころ
あつらひやけまじり

作者 青毛と通染つくり 藤の画、あまのてきやうりちやせいの
あつらひやけまじり

作者 青毛と通染つくり 藤の画、あまのてきやうりちやせいの
あつらひやけまじり

作者 青毛と通染つくり 藤の画、あまのてきやうりちやせいの
あつらひやけまじり

作者 青毛と通染つくり 藤の画、あまのてきやうりちやせいの
あつらひやけまじり

作者 青毛と通染つくり 藤の画、あまのてきやうりちやせいの
あつらひやけまじり

作者 青毛と通染つくり 藤の画、あまのてきやうりちやせいの
あつらひやけまじり

作者 青毛と通染つくり 藤の画、あまのてきやうりちやせいの
あつらひやけまじり

作者 青毛と通染つくり 藤の画、あまのてきやうりちやせいの
あつらひやけまじり

作者 青毛と通染つくり 藤の画、あまのてきやうりちやせいの
あつらひやけまじり

昔は法もあつた

① 一は法もあつた画工の画の

高世より

彼者昔も交中下家より

② 交おうしめを

秀也 昔も大あつた

③ 画工 昔もあつた

俗よ

一や

④ 昔もあつた

⑤ 昔もあつた

⑥ 昔もあつた

⑦ 昔もあつた

⑧ 昔もあつた

⑨ 昔もあつた

お

可王 女給のうきさしはちまきしあつて
あつてはちまきしあつてはちまきする

全 ちまきしあつてはちまきする
すはちまきする

全 ちまきしあつてはちまきする
ちまきする

甘くちまき

辰名 女給のうきさしはちまきしあつて
鳥まきする
すはちまきする

吉中 ちまきする

西王 給のうきさしはちまきしあつて
辰名 女給のうきさしはちまきする

全 ちまきする

全 ちまきする

全 ちまきする

辰名 ちまきする

江戸地本問答目下



通油所 丸や 丸や 丸や



大ざし 丸や 丸や 丸や



通油所 丸や 丸や 丸や



通油所 丸や 丸や 丸や



通油所 丸や 丸や 丸や



通油所 丸や 丸や 丸や



通油所 丸や 丸や 丸や



通油所 丸や 丸や 丸や



通油所 丸や 丸や 丸や



通油所 丸や 丸や 丸や

④ 岩 山崎 岩戸 岩戸

吉 通 吉 校 吉 吉 吉

介 了 吉 山 山 山 山

⑤ 泉 市 沖 泉 泉 泉 泉

市 大 大 大 大 大 大

⑥ 通 通 通 通 通 通

⑦ 市 市 市 市 市 市

⑧ 市 市 市 市 市 市

⑨ 市 市 市 市 市 市

⑩ 市 市 市 市 市 市

市 市 市 市 市 市

市 市 市 市 市 市

市 市 市 市 市 市

市 市 市 市 市 市

市 市 市 市 市 市

市 市 市 市 市 市

市 市 市 市 市 市

市 市 市 市 市 市

市 市 市 市 市 市

市 市 市 市 市 市

市 市 市 市 市 市

• 田中菴信

• 丈阿

• 文子

• 通交

○ 壽三乙 明誠堂、皇山人、又云手柄三持

• 意川喜介 又云酒不持

• 芝全交

○ 万象亭 表號万象、北号万象亭、又云竹杖乃持

○ 唐末三和

• 櫻川岸田杜芳

○ 通笑

• 可笑

○ 七珍万室 北号表号亭、今云二成目万室亭

○ 三橋在云二

○ 錄山人信普

• 芝之甘交

此者名室了拾卷

• 意川好介

• 意川喜介

• 意川喜介

• 意川喜介

• 意川喜介

壁前乃九年坊

竹塢寺西亭子

丁院伽藍南

中右寺石函北寺寺人名

田中蓋院

高川寺所

中右寺石函北寺寺人名

觀音寺寺所

名人觀化者六家撰

表三二

高川寺所

⊗

丁院伽藍

通笑

名人全交

高川寺所

⊗

倭画巧名居

○鳥居庄兵衛清信

清信

清重

清満

清永

清経

清成

清成 夏清長

鈴木春信

湖池子

石川豊信

文圃

富川以之丞信

了村重長

菱川吉兵衛

春所

長七九

三郎

北原重政 信重子 花蔭

勝川旭洲丹波守

玄湖

春山

春林

春雀

春好

春名

春菜 九佳子

藤佳子

北乃辰政

新多川 新平

小葉

蕙子 孫子

葎のふ改ふ

新川一統のふ興書

興書

興書

むらしはむら村新本島川也

湖流石川らむ村新本島川也

は長うむらむら川新本島川也

むらむらむらむらむらむらむら

画工名屋 これハ素直の事ハ板石を体の中

鳥居岡信長

勝川丸信のふ書英

長多川新本島

むらむら改

むらむら改

むらむら改

▲新本島和文のむらむら改

むらむらのむらむら改

むらむらむらむらむらむらむら

むらむら

むらむら

むらむら

むらむら

柳 結 子

御 門 子

喜 好

喜 好

喜 好

喜 好

喜 好

喜 好

御 門 子

喜 好

似 似

項 羽 本 骨 義 仲

言 祖 新 報

雅 陰 侯 韓 竹 柳 崎 和 泉 守

江 島 尾 其 礎 西 川 神 任

水 高 島 守

難 意 志 枕 某 哉

本 子 結 伊 勢 物 法

秋 城 結 是 の 文 に 於 け る

秋 城 と 結 是 の 和 歌 と 仙 白 子 於 け る

卯子と 来号祝
夜路通と 古今集

卯 450の

金屋の

表 中 路 全 年 年

在 坡 全 年 年

本 子 漢 全 年 年

~~Vertical text, heavily obscured by black ink strokes.~~